

協会って、そもそも  
何をする組織なのか

KBA

神奈川県ビリヤード協会

# 協会をつくるとは、どんな意味があるのか？

協  
会  
の  
意  
味  
合  
い

---

一般的には、協会は会社と違って、公益性ある事業を行っている団体に見てもらえる

---

一般的には、会社は利益を追求する団体

---

しかし、協会では利益を上げてはいけないイメージを持たれることが多い

---

会社も協会も、どちらも同じようにビジネスをして構わない

---

協会を使ってビジネスライクに活動をされている経営者も多く存在する

---

『〇〇協会』という名称を使うことで、生活者にとっては「中立そうな組織」に映ることを上手に活用して、ビジネスに結びつけることができる

---

個人名や屋号、株式会社で活動するよりも、協会として起業する方が、評判も良く、大きなビジネスに発展できることがある

---

# 協会を設立するメリット

---

メ 法人として活動できる

---

リ 収益事業以外が非課税である

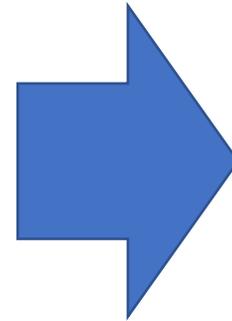
---

ツ 寄付金などを集めやすい

---

ト 認定公益法人として活動することも可能である

---



メリットを活用できてない

# 協会の体系とは

## 体系

---

協会とは、特定の目的を達成するために設立される組織である

---

その目的を達成するために賛同する会員と共に運営される組織である

---

特に、特定の業界において業界の発展などに尽力する目的でその業界関係者が参加する協会などが日本には多く存在する

---

協会は会長や理事長などのトップの下で理念に賛同した会員等によって運営が行われる

---

規模の大きな協会では総会を最高の意思決定機関に置く

---

その下に常任理事会や各委員会、部会などを設置して組織的な運営を行う

---

# 協会の運営費とは

---

## 運 営 費

協会を運営するための原資は会員から払い込まれる会費

---

補助金・助成金による収入を得ることができる

---

寄付金による収入を得ることができる

---

その他に、協会が行う事業によっても運営費を賄うことができる

---

# 協会の運営のしくみとは

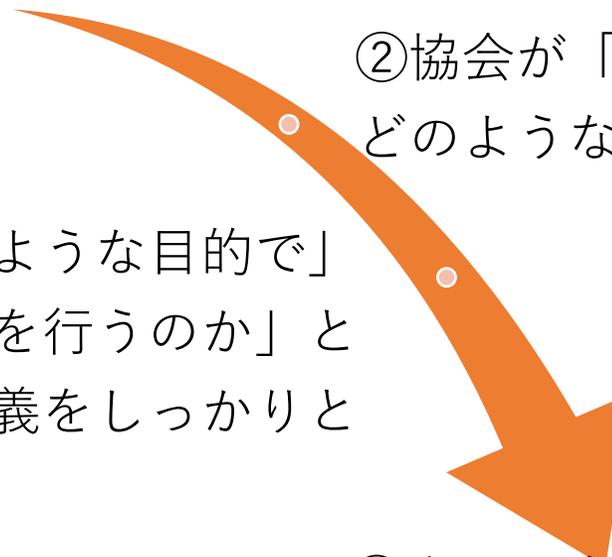
## 成功パターン

①存在意義を明確にする！！

②協会が「どのような目的のために存在して、  
どのような事業を行うのか？」を決める

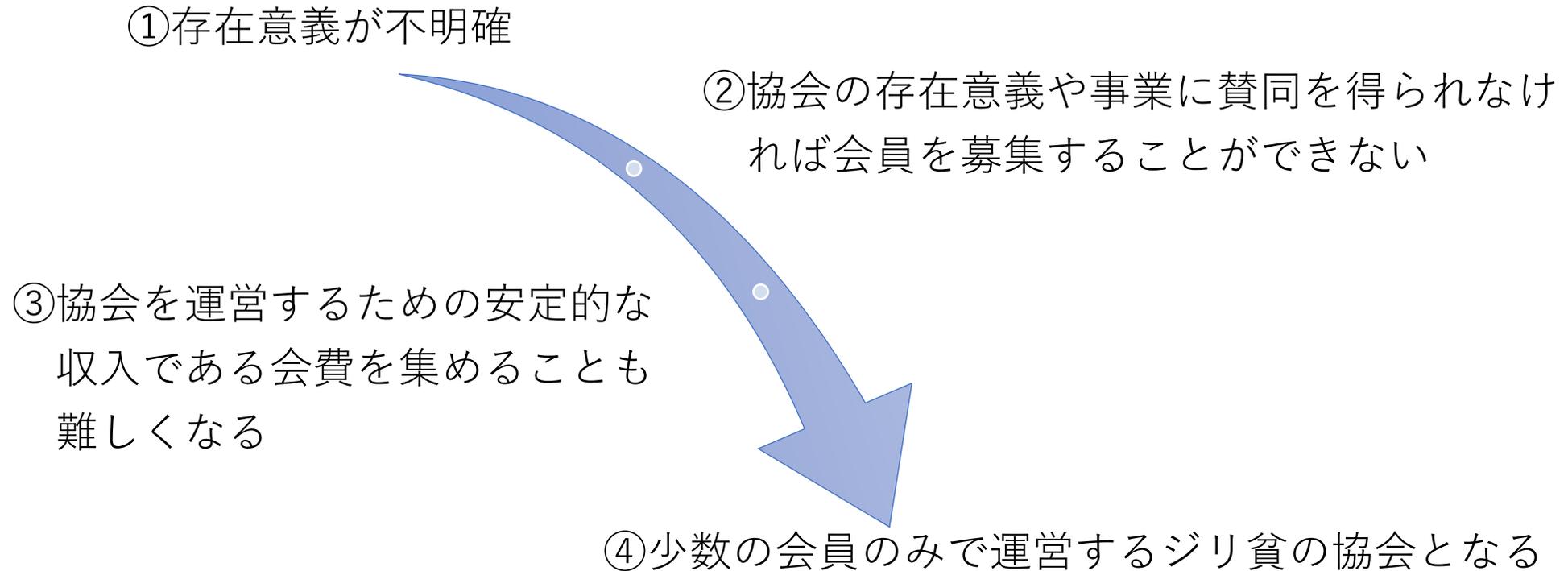
③「誰が」「どのような目的で」  
「どのような事業を行うのか」と  
いう協会の存在意義をしっかりと  
掲げる

④多くの会員が参加できるような仕組みを作  
り上げることが最も重要となる



# 協会の運営のしくみとは

## 失敗パターン



# 協会をつくる本質的な意味とは？

---

本  
質  
的  
な  
意  
味

協会という組織は、「思いをカタチにする団体」と言る理事長の思い、つまり、理念を会員組織によって実現していくことが本当の意味となる

---

協会の名を使ってビジネスしようと起業するケースが増えている  
協会は非営利団体だが、法律上、利益を求めた経営をしても良い組織

---

ただし、協会という性質上、そのようにビジネスライクに経営をしようとする、どうにもうまくいかなることがあり、お金儲けを優先させてしまう心持ちだと、綻びはじめる

---

# 協会のお金儲けは組織の本質と合っていない

本  
質  
の  
整  
理

協会は会社と違って、利益の追求を優先させないほうが良い

➡ 会員組織で成り立つ協会では、馴染まないメンタリティである

協会は、理事長の理念を実現するために存在する団体

そして、その理念に感動して集まる多くの会員によって構成される組織である

➡ この意味するところは、お金よりも理念を優先させているメンバーで運営している組織である

この本質を理解せずに、効率や収益を優先しては、協会の発展はありえないので十分に配慮する必要がある

# 会社と協会の存在意義の違い

顧客にサービスを提供すること

---

会  
社

利益を追求することで、組織を大きくしていける

---

会社を大きくするというのは、それだけ多くの人に自社のサービスを提供している表れなので、一生懸命営業活動をする

---

目的のために協力して維持すること

---

協  
会

協会はお金儲けはしてはいいものの、お金儲けを優先させてしまうと、拡大する力になっていかない

---

利益を追求しようとするほど、「売り」が強くなり過ぎてしまい、組織に馴染まなくなってしまう

---

理事長の理念を実現するために集まっている会員組織である

---

# 協会は争わない組織

## 会社は争う組織

### 会 社 の 性 質

競合他社とのサービスに勝って、初めて生き残れる

常に他社の動向をチェックし、自社のサービスの向上にチャレンジし続ける

「数字」を気にします。売上、そして利益がキモになる

その業界にマーケットやポジションがなくなると見るや否や、業態を変えることもある

そもそものサービスから撤退してでも、会社を存続させることを優先させる

## 協会は争わない組織

### 協 会 の 性 質

「その分野の専門家集団」になるので、競合が参加してこない性格がある

すでに協会があるならば、そこに入会すればいい

「理念を実現する」組織である

自らの理念の実現に向けて邁進すればいい。争わず理念を追求する生き方をする

しんどさは会社の経営ほどないのが特徴である

# 協会を運営する為に理事の頭の中に必要な考え方のまとめ

- 協会を作ることの意味は、夢をカタチに変えていくこと  
その出発点に「理念」があることを重んじることが必要である
- 協会という組織の持つ性質は、自らを「理念中心の人物」に押し上げてくれる。押し上げる事が必要である
- 理念があることで、会員が繋がっていることを実感してもらう事が必要である
- 理念なき組織では、皆の拠り所、意思疎通、向かう先がまとまらずに、困った組織となってしまうと認識することが必要である
- 協会は、ある目的のために会員が協力しあって達成する団体と認識することが必要である
- 会員が協力したいと思える理念をしっかりとつくることが必要である